

# 瓦礫・伐採木の分析試料採取について

平成24年7月30日

放射性廃棄物処理・処分

# 分析試料採取の進め方(概要)

## ○目的・基本方針

- \* 処理・処分の観点で重要となる核種の放射能濃度を評価することを目的として、ガレキ等をサンプリングし、核種別の放射能濃度を分析する。(現場状況に応じ月1回を目安に実施)
- \* できる限り**発生元が明らかな試料を中心に採取**し、中長期的な分析に備え保管していく



## ○試料採取上の留意点

- \* 一時保管中の瓦礫・伐採木は覆土保管前に採取しないと当面採取は困難になる
- \* 一時保管している瓦礫は線量率や種類によりできる限り分別しているものの、発生場所に関する追跡性を確保することは困難な状況(伐採木はある程度想定可能な状況)



## ○瓦礫

- \* 発生元が比較的明確な**撤去前の瓦礫を採取**
- \* 覆土保管前瓦礫をランダムに採取
- \* 建屋内除染等、**他プロジェクトで採取した試料を共有**する

## ○伐採木

- \* **伐採前の樹木の枝葉を採取**
- \* **一時保管されている伐採木をランダムに採取**

## ○課題

- \* 中長期的なサンプリング計画の詳細化／分析の優先順位の検討 等



# 試料採取場所



# 第1回試料採取作業(結果)

## 3号機



- ・コンクリート(6個) : 40～2,000  $\mu$  Sv/h
- ・砂礫(4個) : 220～1,500  $\mu$  Sv/h

## 4号機



- ・コンクリート(5個) : B.G.～6  $\mu$  Sv/h
- ・コンクリート目地(1個) : 1.2  $\mu$  Sv/h
- ・砂礫(1個) : 2  $\mu$  Sv/h
- ・鉄筋(3個) : B.G.～1.8  $\mu$  Sv/h

### 作業概要

	第1回
日時	平成24年6月25日 15:00～16:00
被ばく線量	最大0.3mSv

## 第2、3回試料採取作業(結果)

### 伐採木(第2回)



- ・伐採木(5個): 約4.5~8  $\mu$  Sv/h
- ・生木(2個): 約3~4  $\mu$  Sv/h

### 1号機(第3回)



- ・コンクリート(7個): 約20~250  $\mu$  Sv/h
- ・金属(3個): 約17~50  $\mu$  Sv/h

### 作業概要

	第2回	第3回
日時	平成24年7月26日 17:00~18:00	平成24年7月27日 9:00~11:00
被ばく線量	最大0.16mSv	